

漁

TAKUSUI

3

2008年 March

No.617



REPORT “第32回淡路のり品評会”

ウチの漁協! JF福良

CONTENTS

- 2 旬に想う
文字について
表紙の言葉
- 3 NEWS
・貨物船沈没事故発生!
・イカナゴ新仔漁解禁!!
・第10回浜坂みなと「はたるいか祭り」開催!!
- 4 REPORT
“第32回淡路のり品評会”優秀賞24点が選ばれました
- 5 TOPICS Part 1
第11回「山田記念賞」表彰式開催!
TOPICS Part 2
平成19年度会計研修会(上級)開催
- 6 ・ライフジャケットの着用徹底を
海難事故防止に向けて自主研修会
・ひとり乗り漁船のライフジャケット
着用義務のお知らせ
- 7 フリースペースour hour
貝殻リサイクルの推進/環境創出型魚礁
JFシェルナース
- 8 兵庫JCC通信
お魚バブバブ Quiz
- 9 行事予定
大輪田塾だより
- 10 ウチの漁協
JF 福良

表紙の言葉



船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則の改正で、一人乗り漁船の航行、漁ろう中についても救命胴衣着用が平成20年4月1日より義務化されることに伴い、各地区で説明会を開催しました。

漁師さんにいろいろな種類の救命胴衣を試着していただき、「☆自分の命を守るために! ☆母ちゃん、子供、孫を泣かさない為に!」をスローガンに着用を呼び掛けました。安全操業・無事故を祈る一コマです。

(但馬地区での開催風景)



写真と文 遊 芥 子



電気店前

文字について

◆全世界で人が話す言語は、推定で七千種あるらしいが、その言語を記録する文字はわずか四百種ほどだそう。表記文字を持たない「無文字社会」が少なくないのである。言葉は、口から発せられた途端に消滅してしまうから、録音装置が発明された以前は、言葉を保存するのは不可能なことだった。人と人のコミュニケーションは声の届く範囲でのみ行われ、自分たちの歴史も人が語り継いで、後世へと伝えた。その言語を記録するため、符号が考え出され、やがて文字が生まれる。文字は「刻む」か「書く」ことにより残された。

◆四百種あるという文字は、極めておおまかな推計で、古代エジプトのヒエログラフやメソポタミアの楔形文字など、既に書き手のない文字や、マヤ文明の「マヤ文字」、アステカ文明の「アステカ文字」をも含めた総数である。日本では、漢字の伝来以前には固有文字は存在しない。「文字」というのも借用漢語である。大和ことばの「ふみ」も語源的には「文」が字音変化したと考えられている。漢字がいつ日本に伝わったか正確には判らないものの、九州や山陰の沿岸部の人々は、漁で漕ぎ出たのは大陸の人と接触して、様々な文化が齎されたという説もあり、その中には文字もあった筈である。

◆漢字を作ったとされる蒼頡という伝説上の人物が、

中国の古書『説文解字』に出ていているという。ある日、蒼頡が地面に鳥や動物の足跡を見つけ、その足跡の特徴から、その動物が特定できることに気づいた。そして事物も特徴をとって造形すれば、表現が可能だと考えた。そして字が作られる。観察眼の鋭さから蒼頡には四つの眼があったと伝説はいう。漢字に『文』と『字』の2種があり、分解できない単体が『文』で、単体を組み合わせて『字』が構成されている。文とは線が交わるサマを示す「もよう」の意で、拡大解釈して『あやのあるサマ』をいう意味になる。文をアヤと読む由来であるそう。

◆「象形文字」は自然に存在する形を字にしている。具体的な形があるから考え易かったようで、動物は形をうまく捉え絵画的に表現し、「日」は太陽を、「月」は半月を表し「木」は枝を張った様子がうまく出ている。抽象的な概念を表す場合、字を作るのも難しいと思われるが、指示文字「上」「下」「本」「末」などは記号的に考えられていて、よく気づいたものと感心する。これらを基本に、象形や指示文字を組み合わせて、複雑な「形成文字」や「会意文字」となる。余りに複雑な字は覚え難いため、簡単にした略字や俗字が罷り通ることになる。文字の世界は奥行きが深く、実に面白いと思う。



貨物船沈没事故発生！

3月5日(水)午後3時頃、明石海峡の東側で貨物船やタンカーなど3隻の船が衝突し、うち1隻が沈没し、死傷者が出ました。

沈没したのは、貨物船「ゴールドリーダー」(1466ト)で、沈没現場からは大量の油が流出しています。明石海峡は交通の要衝であるとともに、イカナゴ漁の好漁場でもあり、東西にはノリ養殖漁場が広がっています。関係各JF、系統団体は「ゴールドリーダー号流出油事故対策本部」をJF兵庫漁連内に設置し、流出油被害の拡大防止など対応しています。



いかなごの新子ちゃん

イカナゴ新仔漁解禁！！



いかなごの新平くん

瀬戸内の春を告げるイカナゴの新仔漁が2月28日(木)に解禁されました。

消費者が待ち望んでいた新仔漁。昨年が不漁であっただけに、漁業者も今期の水揚げに期待しています。解禁時の水揚げはまずまずでした。サイズはくぎ煮に最適で、今後の消費者動向に期待が持てます。

さらに、県下の船びき網漁業者で構成されるイカナゴ謝恩実行委員会が、神戸市内の中学校等でくぎ煮教室を開催しており、今年は昨年より開催回数を大幅に増やして、さらなるイカナゴの消費拡大・広報活動に取り組んでいます。また、例年通り「新鮮イカナゴ速報」(ラジオ関西 55.8KHz)で、毎日の水揚げ情報を消費者へ発信しています。あわせて、JF兵庫漁連はホームページで、消費者に毎日の水揚げ情報を提供しています。



詳細はJF兵庫漁連ホームページへ。
インターネットで《兵庫県漁連》を検索すると簡単です。

第10回浜坂みなと「ほたるいか祭り」開催！！

日時：4月6日(日) 10:00～ 時間：浜坂漁港せり市場

来たる4月6日(日)に浜坂漁港せり市場付近にて、第10回浜坂みなと「ほたるいか祭り」が開催されます。会場では新鮮なホタルイカを材料とした多彩な料理や但馬牛ステーキ、サツキエビ汁、ハタハタ料理などをお楽しみいただける予定です。

また、活ほたるいかふれあいゾーン、七釜温泉の湯を使った足湯などのイベントも計画され、地元の海産物、農産物や特産品も販売されます。お楽しみ抽選会や餅まき大会など様々なイベント盛りだくさんで更にお楽しみ頂けます。

※時化の関係で、イベント・料理内容が変更になる場合があります。

REPORT “第32回淡路のり品評会”

優秀賞24点が選ばれました



去る2月7日に淡路水産センターにおいて恒例の“淡路のり品評会”が開催され、1次審査に合格した50点について、この日2次審査が行われました。

今回出品された乾海苔は、12月上旬より1月中旬までに製造されたもので、島内129経営体の約60%にあたる80点が出品されました。第一次審査にて50点に絞られたものから、当日、県、業界団体の代表やのり検査員による第二次審査が行われました。出品された乾海苔はどれも「淡路のり」らしい製品であり、特に上位の製品については品質も揃っており、どれも甲乙つけがたいものでした。

審査の結果、兵庫県知事賞の内海水産(JF育波浦)を始め24の賞が決定し、JF兵庫漁連 小松司会長から「今年は、早い時期から色落ちが発生し、原油の高騰や生産過剰による単価の低迷などで、のり生産経営は

ますます深刻になってきている。このような状況下、本品評会は高品質で安全・安心なのり作りを目指すのり生産者の意識向上に貢献している。出品された皆さん方の熱意と御努力に敬意を表します。」と講評が発表されました。

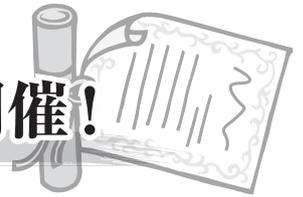


第 32 回 淡路のり品評会審査結果表

(敬称略)

賞の区分		漁協名	経営体名	代表者名	賞の区分	漁協名	経営体名	代表者名
兵庫県知事賞		育波浦	内海水産	内海 春樹	兵庫県漁業共済組合長賞	森	丸竹水産	畠田 国男
兵庫県議会議長賞		森	徳市水産	森 幹男		育波浦	竹昌水産	竹内 和久
兵庫県淡路県民局長賞		育波浦	内山水産	内山 充司		育波浦	岡田水産	岡田 豊秋
兵庫県漁業協同組合連合会長賞		育波浦	柳川水産	柳川 杉雄	全国共済水産業協同組合連合会 兵庫県事務所長賞	室津浦	こんや水産	松下 時久
兵庫県立農林水産技術総合センター所長賞		仮屋	新平水産	相田 和民		富島	丸源水産	田中 潤市
兵庫県淡路県民局 洲本農林水産振興事務所長賞		森	真留水産	森 正之		森	利平水産	森 正安
島内市長賞	洲本市長賞	五色町	大橋水産	大橋 盛夫	兵庫県内海漁船保険組合長賞	一宮町江井	Ⓣ水産	大塚 照夫
	淡路市長賞	育波浦	育栄水産 F	西山 弘良		育波浦	育栄水産 H	浜野 典久
	南あわじ市長賞	湊	三共水産	山形 和三郎		育波浦	柿本水産	柿本 幸久
兵庫県信用漁業協同組合連合会長賞		富島	瀬戸内水産	西條 利幸	社団法人 淡路水交会長賞	一宮町郡家	平助水産	石上 建
		森	丸金水産	森 義政		育波浦	柳敏水産	柳川 明生
		森	大草水産	大草 義美		一宮町江井	河野水産	河野 崇起

第11回「山田記念賞」表彰式開催!



去る2月6日(水)に神戸ポートピアホテルにて財団法人 兵庫県水産振興基金の主催により第11回「山田記念賞」表彰式および祝賀会を開催しました。

「山田記念賞」は、永年にわたり大きな夢と希望を抱いて本県水産業の発展に尽くされた故山田岸松氏を偲び、その功績を記念するため平成3年に創設されました。この賞は水産業の経営、技術に優れ、多年にわたり

本県水産業の振興に貢献し、その功績が顕著な方々に贈られる賞であり、今年度はJF東由良町元副組合長理事 船越利次様ならびに有限会社 釜屋大敷様が受賞されました。

表彰式では、主催者の井戸敏三 理事長より「受賞された方々のように、これからの水産業はそれぞれの地域に根ざした活動が重要。次世代における地域のリーダー育成として大輪田塾に期待します。今年は海苔が厳しいですが、世界では魚の奪い合いが始まっています。今こそ資源管理と魚価向上が取り組むべき課題です。ともにがんばりましょう。」と挨拶し、来賓を代表して秋武宏 JF兵庫信漁連会長が祝辞を述べられました。また、受賞者の船越利次 JF東由良町元副組合長ならびに濱上政美(有)釜屋大敷代表取締役は「本日は夢のようで感無量。漁業としては苦しい時期ではありますが、これからも努力していきたい。」と謝辞を述べられました。

その後、小松司 副理事長が大輪田塾の3期生を紹介し、続く祝賀会では、山田隆義 理事が「設立以来、山田記念



賞を受賞された方々が今も水産業界で活躍されていることは非常に嬉しい。当基金は今日直面している様な厳しい時代を憂慮して設立された。現在は金利の引き下げもあり、期待に答えることが出来ていないが、我々はこの基金を守り育てなければいけない。」と挨拶し、西村良二 兵庫県農林水産部長より乾杯のご発声がありました。歓談の後、伍々博一理事・兵庫県農林水産局長による万歳三唱で祝賀会の幕を閉じました。

【山田記念賞受賞者】 「平成19年度兵庫県水産賞受賞者」

- ・ 東由良町漁業協同組合 元副組合長理事 船越 利次 様
- ・ 浜坂町漁業協同組合 有限会社 釜屋大敷 様

平成19年度会計研修会(上級)開催

去る2月20日(水)、水産会館において、(財)兵庫県水産振興基金の主催により平成19年度会計研修会(上級)が開催され、県下各JFや系統団体の会計管理者が出席されました。

はじめに、主催者の戸田氏認専務より「県下漁業関係団体の経営が非常に厳しいなかで、一般企業の考え方を活かして組合運営に活路を見いだしてほしい。」と挨拶されました。

研修は、笹倉邦夫JF兵庫漁連監査室長により「企業価値分析の基礎知識」と題して行われました。笹倉室長は「海外の投資家が投資することにより、日本企業では欧米に準じた会計制度改革が進み、価値向上を図る買収も増えている。現代の日本企業は収益性、効率性、安全性、成長性を分析し、明確な経営戦略を実行しなければならない。」と語られ、出席者からは「内容は難しいが、企業が直面している状況が解った。」との声がありました。



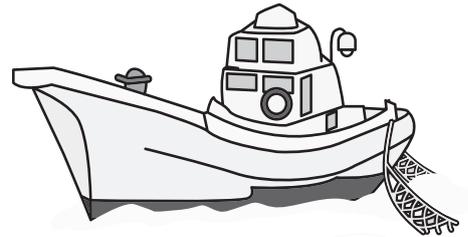


ライフジャケットの着用徹底を 海難事故防止に向けて自主研修会

JF東由良町（豊田修組合長）は、去る2月25日（月）午後、漁連および内海漁船保険組合から担当者を招き、海難事故防止自主研修会を開催しました。これは昨年春、船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則の一部改正が行われ、本年4月1日から一人乗船・操業の漁業者にライフジャケットの着用が義務づけられたことを受けて、組合員にライフジャケットの着用啓発を図るとともに、多発する海難事故防止のため、漁船等海難の現状と初動対応、又、法令遵守・損害賠償対応の注意点などについて、研修の機会をもったものです。

出席したのは漁から帰ってきた底びき漁業者ら20数名で、講義の後、ライフジャケットを实际着用した時の作業性や価格のことなど熱心な意見交換があり、その場で購入申し込みをされる一幕もありました。

漁連をはじめ関係系統団体では、昨年12月、神戸で海難防止研修会を開催し、尊い命を守るために、あらゆる機会を通じて事故防止を呼びかけようと取り組みを始めており、漁協単位の研修にも協力していくとしています。



膨張式

ひとり乗り漁船の ライフジャケット 着用義務のお知らせ

船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則の改正で、
平成20年4月より、下記のとおりとなります！



固形式浮力体 防水防寒型フード付



発泡樹脂と空気密封式浮力体の併用型

ライフジャケット着用義務対象者

現行

漁船へのひとり乗り航行・漁ろう中で
連絡手段を確保していない場合

※違反の場合、6ヶ月以内の免許停止の処分の対象



平成20年度4月1日～

漁船へのひとり乗り航行・
漁ろう中の場合

※違反の場合、6ヶ月以内の免許停止の処分の対象

なお、上記以外の場合についても、ライフジャケットの着用に努めてください。

いろいろな構造のライフジャケットがあります。

漁ろうの種類に応じた、適切なライフジャケットを選びましょう！

ご用命は JF 兵庫漁連資材部へ **TEL078-942-9272**

JF兵庫漁連資材部取扱商品

貝殻リサイクルの推進
環境創出型魚礁
JFブランド商品

JFシェルナース

前号で現在の取り組み状況を記載させていただいた「JF シェルナース」について、今号では今後の取り組みと展望を述べていきます。

増殖礁・魚礁採用へ推進

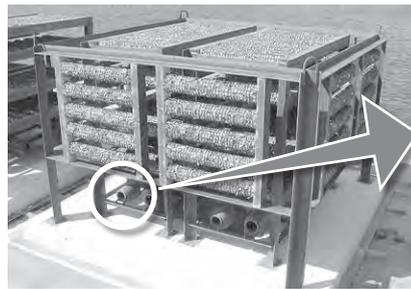
最近では人工魚礁に対する増殖効果が重視されるようになり、特定魚種の資源増産を目指す増殖場造成はもちろん、魚を効果的に集める魚礁事業においても、魚介類に対する餌場・隠れ場・産卵場といった機能が求められるようになってきました。

上記の機能を全て兼ね備えたJFシェルナースは、まさに今求められている人工魚礁であり、今後はJFシェルナースの推進とともに、県内の貝殻を使用したシェルナース基質の製作にも積極的に取り組んでいきます。

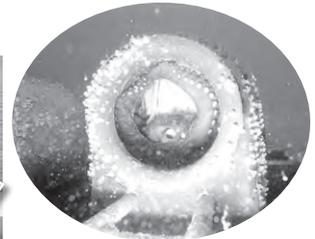
また、タコの産卵場としてタコツボを付加したり、アコウの種苗放流などに適した機種を提案するなど、各地区における地域資源の維持や増産を目指した取り組みにも力を入れています。



JFシェルナースへのアコウの種苗放流

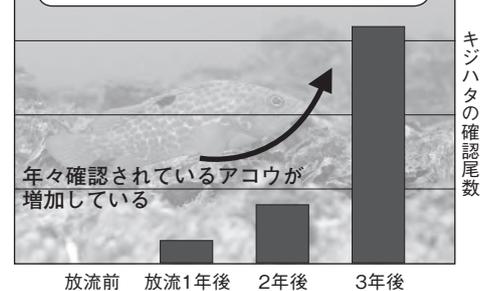


タコツボを取り付けたJFシェルナース



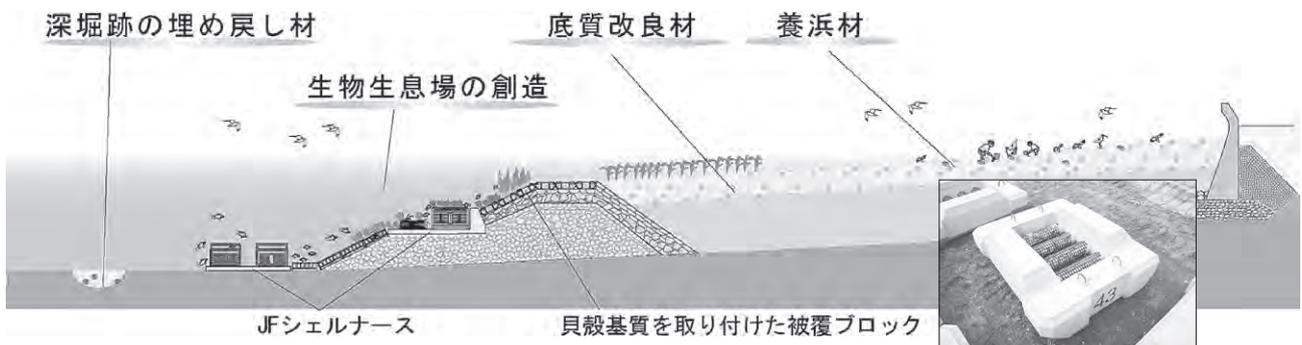
タコツボで産卵するマダコ

JF シェルナースにおける種苗放流前と後のアコウの確認尾数



貝殻の有効利用

貝殻は、海底に敷き詰めることによって干潟やアマモ場などの浅場造成材料として有効に利用できることが実証されています。県内産の貝殻をJFシェルナースをはじめ、幅広い方法で海域環境の保全・回復に有効利用していきたいと考えています。



えさやさん (写真:三省水工(株)提供)

3号にわたり JF シェルナースを紹介させていただきました。今後も豊かで接続利用可能な海を目指して、製品の開発・普及に努めていきますので、ご協力よろしくお願ひします。

漁港・漁場造成のご計画や貝殻の有効利用に関するご相談は JF 兵庫漁連資材部をお願いします。

資料請求・お問い合わせ

JF兵庫漁連資材部まで **078-942-9272**

JFシェルナースURL <http://www.kaiyoh.co.jp>

握りたてのおいしさを 『おにぎり工房かさい』オープン

JA兵庫みらいの農産物直売所『かさい愛菜館』の隣に2月2日、『おにぎり工房かさい』がオープンしました。

同店は、昨年11月にオープンした『おにぎり工房みき』に続く2店舗目で、米の消費拡大を図り、地産地消を進めて消費者に地元産の安全安心なおにぎりを届けることが狙い。女性会加西連絡協議会・宇仁寿美会長ら市内の主婦9名が運営し、毎朝炊きたての米で、握りたてのおにぎりを提供します。

オープン初日は、同JA・三宅秀文常務理事、志方敏泰加西宮農生活センター長、グループ代表・宇仁寿美氏によるテープカットで開店しました。

おにぎりに使う米は加西産「ヒノヒカリ」100%で、具材は青菜、サケ、梅、ネギみそ、カツオじゃこの5種類。「かさい愛菜館」と連携して旬の食材を調達する。ほかにも豚汁やコーヒー、甘酒など温かい家庭の味を届けます。

来店者は「地元産で誰が作っているのかわかるので、安心して食べられる」と期待を寄せていました。宇仁氏は「加西の安全安心なブランドとして、シンプルなお母さんの味を届けていきたい」と意気込みを見せました。



テープカットでオープンした『おにぎり工房かさい』

<http://www.zenchu-ja.org/>

「緊急時における応急生活物資供給等に関する協定書」締結式を行いました

2008年1月12日、兵庫県民会館において兵庫県と兵庫県生活協同組合連合会との間で「緊急時における応急生活物資供給等に関する協定書」の締結式が行われました。これは、阪神淡路大震災から13年となるのを前に、協定書を締結することにより、県下一円において、緊急時に応急生活物資の調達および安定供給、医療・保健活動、生活情報の収集・提供等の救援活動を行い、被災者等の生活の早期安定に寄与することを目的としたものです。締結式では兵庫県齊藤副知事より「今から13年前、私たちは阪神淡路大震災という悪夢の苦しみを体験し、県民の安全・安心を守る防災への備えの大切さを思い知りました。今回、兵庫県と連合会単位での協定が生まれることにより、より広域な防災対策に大きな役割を發揮するものと期待します。」と挨拶されました。兵庫県生協連合会浅田克己会長理事からは「今回の協定が生活物資だけでなく医療支援も盛り込んだ内容となり、重く受け止めています。生協の社会的な役割を發揮し、貢献していきたい。」と挨拶しました。



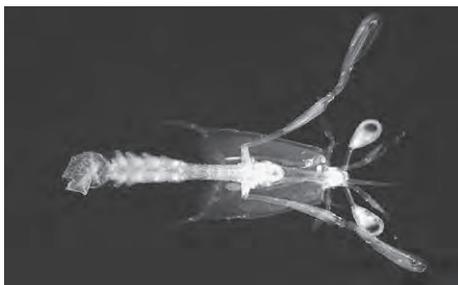
協定書を交換し、しっかりと握手をする
齊藤副知事（左）と県生協連浅田会長（右）

<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

お魚バブバブ Quiz

魚類は、孵化直後から各ヒレがしっかりする直前までの状態を仔魚、その後親魚と同じ形に育つまでの発育期間を稚魚と呼びます。孵化直後の仔魚は、成魚と似ていない場合も多く、面白い特徴がある種類も多く存在します。

今月は魚類以外の赤ちゃんクイズです。これは一体何でしょう？



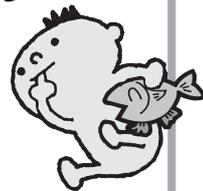
写真提供：兵庫県立水産技術センター

ヒント

- ①ツメの先に注目。
- ②卵を持つ頃が美味しいと言われています。
- ③食べ方によりガレージと呼ぶことも。二度ほどツメで刺されたことがあります。元気な時には注意してください。

答えは、P9下部に掲載しています。

みんなも
考えてみよう！





行事予定

<変更になる場合があります>

JF兵庫漁連		
3月	15日(土)	第10回のり入礼会
	19日(水)	農林漁業祭実行委員会総会 (ラッセホール)
	21日(金)	13:30 ~ 兵庫県漁業経営安定対策協 第1回協議会・幹事会合同会議 (中会議室) PM ~ 兵庫県サワラ漁業者協議会 (水産技術センター)
	26日(水)	14:30 ~ 兵庫 JCC・第3回幹事会(県民会館)
	27日(木)	第11回のり入礼会 13:00 ~ 理事会(中会議室)
4月	9日(水)	第12回のり入礼会
	24日(木)	第13回のり入礼会

JF兵庫信漁連		
3月	18日(火)	兵庫県金融広報委員会幹事会 (日本銀行神戸支店)
	19日(水)	農林漁業祭実行委員会総会 (ラッセホール)
	25日(火)	兵庫県金融広報委員会委員総会 (神戸銀行倶楽部)
	27日(木)	内水面漁場管理委員会
	28日(金)	13:00 ~ 理事会(中会議室)

JFぎよさい兵庫		
3月	26日(水)	11:00 ~ 正副組合長会議(共済会議室) 13:00 ~ 理事会(中会議室)

JF共水連兵庫		
3月	26日(水)	14:00 ~ 運営委員会(中会議室)
	27日(木)	臨時総会(東京)

基金協会		
3月	26日(水)	中央会通常総会 全国基金協会常勤役員参事会議 (東京)

内海漁保		
3月	28日(金)	漁船保険中央会理事会(東京)

漁港協会		
3月	25日(火)	15:00 ~ 平成19年度第2回役員会 (姫路市職員会館)

ひょうご豊かな海づくり協会		
3月	28日(金)	15:00 ~ 理事会・評議員会(大会議室)

振興基金		
3月	19日(水)	13:30 ~ 大輪田塾
	27日(木)	11:00 ~ 理事会(中会議室)

兵庫県		
3月	18日(火)	13:30 ~ 但馬海区漁調委(但馬漁業センター)
	19日(水)	14:00 ~ 兵庫県農林漁業祭実行委員会 総会(ラッセホール)

その他		
3月	25日(火)	13:30 ~ 淡路水交會総会 (淡路水産センター)

大輪田塾だより

第11回「山田記念賞」表彰式にて3期生決意表明!

2月6日(水)、神戸ポートピアホテルにて開催された第11回山田記念賞表彰式において、大輪田塾が紹介され、3期生のうち3名が決意表明を行いました。

大輪田塾の紹介において、小松司塾長は「塾は井戸知事と丸一前塾長が将来の漁村の活性化を図り開講した。今日のリーダーである皆様にも後援を頂きたい。」と挨拶し、出席した3期生が「水揚げの低下を食い止めるために、また、漁協の活路を見いだすために、そして、これからも漁業を続けて夢を実現するために、何事も学んでいきます。いつか、このような賞をいただけるように頑張ります。」と決意を述べると、会場から大きな拍手が送られました。



大輪田塾についてはJF兵庫漁連ホームページより
《会員・職員》のページへパスワードを入力し



《大輪田塾》のページへ

JF兵庫漁連ホームページ

<http://www.jf-net.ne.jp/hggyoren>

編集後記



世界的に地球温暖化による影響が危惧されています。

先日、南の島が満潮時に冠水するとか、北極の氷が溶けて無くなっているとか、様々

な温暖化の影響がTV番組で紹介されていました。冬が苦手な私ですが、我々漁業者にとっては日々の生活に関わる問題です。自らも燃費の良い車に乗り換えなければ…。

拓水はJF兵庫漁連HPにて掲載中です▶▶▶ <http://www.jf-net.ne.jp/hggyoren/>

鳴門海峡で育まれた良質な魚介類!

フグを中心に全国展開する パワーあふれる組合

ウチの
漁協!

No.54

JF 福良

鳴門海峡に面した豊かな海を優雅に行き交う漁船や、うずしお観光船の姿、そして四国と淡路島を結ぶ鳴門大橋が間近に望める淡路市福良町。そんな日常のなかに漁業風景が溶け込み、昔からの港町として栄えた町で、伝統ある漁をさせてきた組合が、今回ご紹介する福良漁業協同組合です。

福良で水揚げされる魚介類は、鳴門海峡の速い潮の流れのなかで鍛えられ、新鮮で身が引き締まり、質がよいのが特徴です。さらに、海上にあるいけすで養殖されている、フグ・ハマチ・タイ・ヒラメ・サバといった養殖魚も、味に関しては、天然ものに引けをとらないと定評があります。このようにさまざまな魚種が水揚げされているJF福良ですが、特に有名なのがフグ・ハモ・ウニの三大ブランド魚。なかでも現在は、フグの人气が高まっており鳴門海峡で獲れる天然フグは、下関か福良かといわれるほど全国でもトップクラス

の安定した水揚げ高を誇り、「とろふぐ」としてブランド化が進められています。養殖フグもまた、「三年とらふぐ」が地元の名産となっています。「三年とらふぐ」とは、その名の通り3年間養殖されたフグのことですが、通常の養殖では2年ほどで水揚げされるのに対して、さらに1年長く育てることで、2年ものよりも甘味が強く、立派な白子が取れるという特徴があり、最近では全国各地から問い合わせが寄せられるほど大変人気だそうです。

しかし、こうした人気を築く一方で、忘れてはならないのがフグ養殖の難しさ。環境の変化に弱くデリケートなフグは、ストレスを感じると仲間同士で噛み合うため、定期的な歯切りを行う必要があります。また、1匹の状態の悪さが周囲に影響しやすく、それが波及すると、短期間で大量のフグが死んでしまうという難問も抱えています。このような事態を未然に防ぐために、いけす内の点検を欠

かさないなど、常に手間ひまをかけ、試行錯誤を繰り返す組合員の皆さんの日々のたゆまぬ努力があって、福良のフグブランドが築かれるのです。

さて、これらのブランド魚を獲るための漁法は、延縄漁・一本釣漁・底びき網漁・イサリ漁、そして養殖と実にバラエティ豊かです。なかでもご紹介したいのが、この辺りで行っているのはJF福良のみという大変特徴のある延縄漁とイサリ漁です。以前にもご紹介した延縄漁には、水面近くを回遊する魚を獲る「浮延縄」と、海の底を泳ぐ魚を獲る「底延縄」の2種類があります。JF福良では、海面近くを泳ぐフグは浮延縄、海底にいるハモは底延縄と、魚種に応じて縄の種類を変えながら漁をされているのが特徴です。また、夜に行われるイサリ漁では、ウニ・アワビ・サザエなどを獲っています。この漁法は箱めがねで海底をのぞき込み、4メートルほどの長い竿をあやつり、岩場に潜むウニやアワビを獲るため、船は足で操縦しなければならず、熟練した操船技術、まさに漁師の技が必要な漁法です。

昔からの漁師の技を現在に受け継ぎ、さらにフグのブランド化を図っているJF福良。伝統に甘んじることなく、フグをメインとする新たな方向性を見出したJF福良は、今後とも変わることなく、消費者のニーズに応え続けていけることでしょう。

< 漁協メモ >

福良漁業協同組合
代表理事組合長 前田 若男
組合設立日 昭和24年9月2日
組合員数 正組合員143名
准組合員64名
／計207名

